

2019

12月

あさお市民活動レポート

令和1年度麻生区地域課題対応事業
「あさお市民活動レポート」第2巻第25号
発行日：令和1年12月1日

あさおふれんず

Asao
Friends

発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

歳をとればとるほどカッコいい、
「新しいシニア像」を目指しませんか！

昔ながらの「歳をとつても、いかに若く見られるか」でなく

麻生区は川崎7区のなか
で、という特徴があるかを
ご存じだろうか人口は6番目、ただし平均
年齢は45・0歳と、川崎7区
のなかで一番高齢化が進んで
いる。（川崎市市勢要覧2019）江崎禎英著書「社会は変え
られる」には、「疲れた中年
のサラリーマンと、寂しく余
生をおくる年寄りの姿を見
せながら、若者に夢を持って
いう方がどうかしている、次
の時代を牽引する、新たな
『幸せの形』を見つけること
が、この時代に生きる私たち
に与えられた素晴らしい
テーマです。」とある。「あさお市民活動サポート
センター」では、2008年
から「目指せ！アクティブシ
ニア講座」を毎年開催。単
なる座学で終わることなく、地
域での仲間づくりや役立っ
ている。講座修了後は毎年新
しい会が誕生。相互に連携し
ながら、麻生区なりの「新し
いシニア像」を目指し、個性
的な活動をしている。その姿
はホームページや会報紙な
どからも知ることができる。また「麻生区市民活動検索
サイト」でも情報が得られる
ので活用されたいかがで
しょう。

受講者募集
第11回 **目指せ！アクティブシニア講座**

歳をとる楽しみ、新しいシニア像を模索する。定年を過ぎる方や子育てを終えた方、あるいはそのフロンティアを模索する方、地域社会への貢献・役割を模索する。【目指せ！アクティブシニア講座】を開催します。Smiling Senior を目指し、奮ってご応募ください。

開催日
2020年
1月11日・18日・25日・2月1日・8日
10時から12時 麻生区民会館（麻生区民会館）※13時30分から15時30分まで

●開催場所 麻生区民会館（麻生区民会館）※13時30分から15時30分まで
●定員 25名（定員超過の場合は抽選）※13時30分から15時30分まで
●応募条件 麻生区やその近隣にお住まいの方
●募集期間 2019年11月15日（金）から12月14日（月）
●受講料 無料
●申込方法 チラシ裏面の申込書に必要事項を記入し、麻生区民会館やまゆり図書館にファクス。またはご郵送ください。

【申込、お問い合わせ】 認定NPO法人 あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 麻生区麻生5-1-1 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467

同講座は今年度
も、2020年1月
11日（土）から5回シ
リーズで実施され
る。人生100歳時
代を迎え、多くの方
がたが地域デビュ
ーされ、地域で楽し
く過ごされることを期
待したい。昨年度の「目指せ！
アクティブシニア
講座」の様子<https://asao-act.org/?search>

「あさお区民記者」大募集！

区民による、区民のための
情報発信麻生区には現在600以上
の市民活動団体があります。
これらの団体やサークルを取
材して、紹介する活動をして
いるのが「あさお区民記者」
です。2008年の設立から
今までに、取材した団体は2
00余。区民の皆さんに紹介
できていない団体がまだまだ
たくさんあります。

あなたの力を貸してください

現在、「あさおふれんず」（年
3回発行）では市民活動団体
を紹介。取材記事はWEBで
も見られます。そのほか「やま
ゆりニュース」（年3回発行、
町内会回覧配布）では「A」
「S」「A」「O」を頭文字に
麻生区の歴史やお役立ち情報、
防災計画など、区民に役立つ
情報を発信しています。

見学・体験 大歓迎！！

編集会議は毎月第2木曜、
15時から16時30分。麻生市
民会館やまゆりのサロンで
行っています。代表 中島 久幸
なかしま ひさゆき

Tel 080・5087・2665

白と黒で描く水墨画の世界はいかが！

友墨会

金程の麻生区老人福祉センターでの生涯学習、水墨画教室が活動をはじめたキッカケ。先生は現代水墨画協会準同人の向井五十代氏。墨色には万物の色彩が含まれているとされ、筆につけた墨の濃淡が紙に浸潤するような画が特徴である。道具は墨と硯、数本の毛筆に紙があればいい。

先生がスケッチ旅行で見つけた題材を手本にして描く。はじめに先生が木の幹や枝の特徴の描き方を説明しながら10分ほどでザッと書いて見せる。木に応じた葉の形の違

作品を背に笑顔の皆さん（前列左から3人目が向井先生）

はその周りで見守るが、先生の技術を身につけようと真剣だ。そののち各自にわかれて描きはじめる。先生は一人ひとりを回って疑問に答えてゆく。世間話をして場の空気を和らげることに気を配る。全員が1時間前後でその日の題材を書き上げた。

個人差はあるが半年通えばそれなりに描けるようになること。上達の極意はなく、好きであることが大切。麻生市民館のギャラリーで年1回

5月頃に発表会を開く。活動のあと有志で昼食をとり、発表会のあとで懇親会も行なう。和気あいあい、おしゃべりを楽しんでいる。見学自由、是非訪れてほしい。



先生が描いた題材
（岩手の名峰、早池峰山の登山道）

取材・文 区民記者 中島久幸

若い情熱がほとばしる市民劇団

劇団高津（仮）

2015年春、川崎市立高校演劇部のOB・OGを中心に結成された劇団。毎年、オリジナル創作劇の公演を行

うほか、既存劇団の公演に参加したり、ミニライブに出演したり、おのおののペースで演劇活動をしている。

昨年、麻生市民交流館やまゆりで演じられた「ロミオとハムレット」や、今夏上演の朗

読劇「歌詞のない恋人たちの唄」にも出演した。

稽古場では発声や早口言

葉、テーマを決めたエチュード（即興劇）など、芝居の基本訓練をしている。脚本は数人の団員が執筆し、全員投票で決めていく。メンバーには市の演劇祭で優秀脚本賞を受賞した者もあり、台詞には風刺や世相も反映。随所に伏線が

張られ、予測できない結末に導かれる。独特の着眼点、若者ならではの発想や感性がにじみ出る斬新なストーリー展開が好評。見終わったあとは「してやられた」と苦笑し、「なるほど」と唸り、心地よい爽快感が残る。

学生、社会人、タレント活動をしている者など活動に対するスタンスも経験も異なるメンバーが集まっているために、無理をせず、できる人が、できる範囲で参加するがモットーだ。

DATA

ゆうぼくかい

友墨会

代表：岡野 幸雄

連絡先：Tel. 044-989-3789（島津 巖）

設立：1992年4月

会員：12名（男性5名、女性7名）60～90歳代

入会金：なし

会費：3500円/月

活動日：毎月第2第4月曜 10～12時

活動場所：麻生市民館 実習室

DATA

げきだんたかつこかり

劇団高津（仮）

代表：小原 翠輝

連絡先：gekidantakatsu.kari@gmail.com

設立：2015年5月

会員：15名（男性11名・女性4名）

会費：施設利用料を参加人数で負担

活動日：平日の夕方～夜 不定期

活動場所：麻生市民館和室 ほか

Twitter @takatsukari

Instagram gekidantakatsu.kari

取材・文 区民記者 佐々木直子

芝居が好き、演劇に興味がある、役者志望の方、だけでなく、照明や音響、裏方希望のスタッフも募集中！



平均年齢21歳という若さ溢れる劇団

12月15日、麻生市民交流館やまゆりで開催する「クリスマスパーティー@やまゆり」に出演。この日のために書き下ろした作品を上演予定だ。来年3月、同館で催される公演の準備もはじまっている。

寄り添えば よみがえる笑顔

傾聴あさお

芸術文化の街、と賑わう麻生区でも、65歳以上の老年人口割合は23.4%（うち75歳以上は12%）と、川崎市でも一番高い。

ひとり暮らしや老人施設などで話し相手がなく、寂しさや不安を抱えて、社会的に孤立している高齢者も少なくない。

「傾聴あさお」は、そういう人たちの話に耳を傾けて、話し相手になり、心のケアを援助する傾聴ボランティアのグループである。

会員は「傾聴ボランティア講座」の修了者で、50～80代と幅広い。

ボランティア活動のきっかけは、親の介護の経験、傾聴講座を生かしたいなど、さまざま。

現在は、区内の各種老人施設15カ所、個人宅4軒を、先

方と相談して月に1～数回、各回1～数人が訪問し、1時間を目安に傾聴している。メンバー各自の活動は、月2～3回になる。

「傾聴とは？」と、五月女由起さんに聞いた。「ひたすら相手の話に耳を傾けて、じっくり聴くことです。そして、ここにやさしく寄り添い、相手の気持ちを受け止めることです」と、話し手を尊重することの大切さを話した。

利用者との話は、様子や表情を見ながら、家族やふるさと、思い出や季節の風物詩など、初恋の話をされて「このこと、秘密よ」と頬を赤らめて話された人も。

メンバーの原田美津子さんは「利用者の『ありがとう』『また、来てね』『笑顔』が最高のご褒美でやりがいを感じます」と、話した。

「聴」の字体のごとく「目と耳と心でしつかり聴くこと」が傾聴の基本のようだ。

*文中の人口割合は、平成30年10月1日現在

取材・文 区民記者 石崎純也

DATA

傾聴あさお

代表：五月女 由起
連絡先：麻生区社会福祉協議会 Tel. 044-952-5500
設立：2013年4月
会員：40名（男性5名、女性35名）
入会金：なし
会費：1200円/年
活動日：定例会 毎月第2火曜 10～12時
活動場所：（定例会）福祉パルあさお研修室

合唱の神髄はハモること

ハモローズ

新百合ヶ丘おけいこ工房*1、ピアノを囲んだ椅子に紳士たち。「ゆうやけこやけの」

と歌いだす。「おわれてみたのはいつのひか」二声に分かれて合唱だ。



岡上の福祉施設から演奏依頼があったことをきっかけに合唱の「ハモローズ*2」ことの喜びを極めたいと「ハモローズ」は結成された。指導の赤川講師*3、一人一人の歌声の個性がそれぞれ異なる楽器のような響きあうことに合唱の面白さを見出す。様々な曲を題材に歌う楽しさを教える。

その指導ぶり。右手でピアノの伴奏、左手で指揮しながら、対旋律を歌う。さらに「心を込めて」とか、指示も出す。八面六臂の活躍だ。呼応して歌声に表情が付き、二つのメロディが協和する。敬老会からの演奏依頼があり、熱気のこもる練習は続く。

気心の知れた仲間での合唱を大切に「ハモローズ」、まずは見学者としての来場から参加されたし。

DATA

ハモローズ

代表：赤川 明美
連絡先：Tel. 090-9018-2756
設立：2019年5月
会員：9名（男性）
入会金：なし
会費：1500円/回
活動日：第1・第3金曜 10～12時
活動場所：おけいこ工房

取材・文 区民記者 景山 茂

*1 おけいこ工房 マブル1Fにあるレンタルスペース
*2 ハモローズ 音程の異なるメロディが響きあって調和すること。harmonyからの造語。互いのメロディを聴きあって音程を調整することで澄んだ響きになる。この美しさを体験すると合唱が病みつきになるといわれている。
*3 赤川講師 長年、市民交流館やまゆりにて「歌声喫茶」を指導

突撃レポート

「しんゆり親の会 Our Place」は、子育てに不安を抱えている親、不登校の子や社会的ひきこもりの成人の子を持つ親のための会である。

活動は、毎月の例会と広木克行氏（神戸大学名誉教授）による不登校（ひきこもり）についての講演・相談会（年に数回開催）に加え、ひきこもり体験者の講演会などで、例会には運営メンバーのほか、毎回新しい参加者があるという。はじめて参加した人でも、同じ悩みや辛さを抱える親同士のためだろう、お茶を飲みながら、悩みごと、辛いこと、近況報告などを話し合ううちに気持ちに安らいでいくようだ。

代表の鈴木さんによれば、会を立ち上げたのは、広木氏の講演を聴いて子どもを元気にするには、まず親が変わらないとだめ、と教えられたことなどから「同じ悩みを持つ母親たちと一緒に、麻生区にも親の会を作ろうと思った」ためだという。

活動を重ねるうちに「親同士が語りあい、励ましあい、情報を交換するのは、親、子どもの両方に大事なこと」であり、「先生や専門家の方々のお話で、一番苦しんでいるのは子どもであり、親に必要なのは子どもの気持ちを理解し寄り添うこと、子どもをどのよう

に受け入れケアしていくのかなど、たくさんのかたちを学びました。こうしたことを、麻生区の多くの親と子に伝える場を作りたいと思い活動しています」と熱くも人なつっこい笑顔で語ってくれた。

誰でも参加できるので、一度訪ねられてはいかがだろうか。

活発な活動を物語るチラシの数々



DATA

おや かい アワー プレイス
しんゆり親の会 Our Place

代表：鈴木 裕子

連絡先：tsunekokokyos@slp.nir.jp（鈴木）

設立：2018年1月

会員：7名（女性のみ。例会参加者は10名前後）

会費：100円/年

活動日：例会は毎月第3または第4水曜午後
広木克行氏による不登校（ひきこもり）についての講演・相談会は適宜

活動場所：麻生市民館会議室ほか（要照会）

取材・文 区民記者 仲原照男

（注）不登校（ひきこもり）といわれる人は、小・中学校の子どもで約14万人（平成30年度文部科学省調査）、また、自室からは出られないが家からは出られないなど、広義のひきこもりといわれる人は15歳〜39歳で約54万人、40歳〜64歳で約61万人とされている。（内閣府平成30年調査）

取材申込受け付けます！

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」そんな声に区民記者が応えます。
お申込み内容を編集会議で検討したうえ改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

●申し込み方法

- ① 団体名
- ② 代表者名
- ③ 連絡先（電話・FAX・メール）
- ④ 活動内容（イベントの場合は開催日時・料金・内容）を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者クラブ

「区民による 区民のための 情報発信」を目的に活動。
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<https://www.asao-ku.net>

